

# ふくしま

## オーガニック通信

～ 令和7年度 第1号 ～

令和7年7月3日発行  
農業総合センター有機農業推進室



水田内を自動航行するアイガモロボ  
(郡山市)



【編集・発行】福島県農業総合センター有機農業推進室

福島県郡山市日和田町高倉字下中道 116 番地

TEL:024-958-1711 FAX:024-958-1730

Email:yuuki\_otasuke\_soudan@pref.fukushima.lg.jp



↑ ホームページ

### ～有機農業推進等の取組紹介～

#### スマート農業技術を活用したモデル実証事業の 現地検討会が開催されました！

【会津農林事務所農業振興普及部】

6月9日に南会津郡下郷町において、スマート農業活用中山間地域等モデル実証事業の現地検討会が開催されました。

下郷町農業再生協議会は、今年度、グリーンな栽培体系加速化事業を活用して自動操舵田植機を導入しました。条間が揃っていない水田では、除草機のローターによって稲を潰してしまうことがありましたが、自動操舵田植機により真っ直ぐ植え付けを行うことができ、除草作業も容易になりました。

現地検討会では、除草作業を見学するとともに、作業時間や除草効果を確認しました。自動操舵田植機で田植えした水田では、条間が等間隔に揃っており、慣行による田植えの水田よりも欠株が発生しませんでした。今後も除草効果や欠株率等を調査し、環境保全型農業の取組拡大につなげていきます。



自動操舵田植機による田植え作業



水田除草機（乗用型）による除草作業

## 浜通り地方の有機米による食育の取組を紹介します！

【相双農林事務所双葉農業普及所】

5月28日に南相馬市の「農事組合法人あいアグリ太田」の有機水田で、近隣の「太田小学校」の2年生から5年生までの児童36名が田植えを行いました。田植え経験のある高学年の児童が低学年の児童を指導しながら、児童全員で12aの水田に手植えしました。

同日、檜葉町の松本広行さんの有機水田では、「檜葉あおぞらこども園」の園児30名が、田植機による移植作業の見学会が開催されました。6月には南相馬市原町区の「石神第一小学校」や相馬市新沼の「NPO野馬土」による田植え体験が行われるなど、有機に関する取組が広がっています。秋にはそれぞれの地域で収穫作業と、学校給食で有機米が利用される予定です。



田植え作業の様子



田植機による田植え作業の見学

## 有機農業研修会を開催しました！

【農業総合センター有機農業推進室】

有機農業推進室では、農業短期大学校と連携して、将来、福島県内において有機農業での新規就農を検討している方を対象に、就農研修（中級）を開催しています。

今年度は、有機農業に興味・関心のある30代から60代の計8名が受講しています。

6月4日（第1回）には、有機農業の基礎や土づくりに関する講義と、ぼかし肥料づくりを体験してもらいました。6月13日（第2回）には、水稻有機栽培の講義と、農業総合センター内の水稻有機栽培試験ほ場の見学及び郡山市の「有限会社仁井田本家」の有機農業の取組について紹介しました。

次回は、8月6日に野菜有機栽培についての研修を予定しております。



ぼかし肥料作成の様子



「有限会社仁井田本家」の現地見学の様子

## ～現地実証ほの紹介～

### エゴマ有機栽培に有効な育苗資材と有機質肥料の検証

【農業総合センター有機農業推進室】

田村市を含むあぶくま地方では、古くからエゴマの栽培が盛んに行われています。生産現場で使用されている化学合成農薬は、ネキリムシ対策のイソキサチオン粒剤（定植時）のみである場合が多く、有機栽培への移行が期待される品目です。そこで、エゴマ有機栽培の実証試験を行い、苗の大きさの違いによるネキリムシの被害程度や、異なる有機質資材（エゴマ油かす、ニーム核油かす、米ぬか）による生育等の違いについて調査します。田村市船引町のほ場で6月20日に定植し、10月下旬に収穫となる予定です。



半自動定植機によるエゴマの定植作業



左：72穴セルトレイ（25日間育苗）  
中：72穴セルトレイ（18日間育苗）  
右：128穴セルトレイ（18日間育苗）

### 高冷地における水稻紙マルチ栽培の適応性の検証

【会津農林事務所農業振興普及部】

会津地域の水稲有機栽培では、抑草効果の高い生分解性紙マルチの利用が広く普及しています。紙マルチ栽培は、黒い紙製のマルチングシートを田面に敷きながら苗を移植する技術で、光を遮ることで雑草の発芽・生育を抑制する効果が期待されます。一般に、紙マルチ栽培は遮光により地温の上昇が妨げられるため、イネの初期生育が停滞する傾向が懸念されていますが、昨年度、標高450mの中山間地域で検証したところ、生育の遅れはありましたが、実収量で411kg/10aとなり、食味も良好でした。

今年度は、さらに標高の高い700mの地域において適応性を確認しています。近年の温暖化対策として、良食味米が生産できることを期待しています。



紙マルチ田植え機による田植え作業



一面に紙マルチが敷かれた水田

## 液肥「エキタン有機」による米の収量・品質への効果検証

【相双農林事務所双葉農業普及所】

近年、夏季の高温により全国的に米の品質低下が課題となっています。そこで、昨年度から水稻有機栽培において幼穂形成期以降に「エキタン有機」の効果的な追肥方法を明らかにし、高温条件下における栄養凋落を防ぎ、品質向上を図ることを目的とした実証を行っています。昨年度は流し込み回数を変えて調査しましたが、1回区と2回分肥区では米の収量や品質に差は見られませんでした。一方、流し込み処理は、田面の高低差のある水田や水の入りにくい水田では施肥ムラを生じるおそれがあるため、今年度は流し込みと葉面散布の施用方法の違いによる米の収量や品質への効果を確認します。



田植え作業の様子



液肥「エキタン有機」

### ～試験研究の紹介～

## 両正条田植・直交除草による水稻有機栽培技術の確立

【農業総合センター有機農業推進室】

農業総合センターでは、水稻有機栽培の機械除草における株間の残草処理対策として、昨年度に引き続き、「農事組合法人あいアグリ太田」（南相馬市）の協力のもと、直交除草の実証に取り組んでいます。衛星測位システムを活用して、植え付け位置を精密に制御する両正条植え田植機による植付け（条間・株間ともに 30cm 間隔を保った格子状移植）と乗用型除草機の活用による縦横2方向の直交除草を行い、除草効果を検証します。



両正条田植え後の実証ほ



横方向を機械除草する様子

## ～補助事業紹介～

### 有機農業関連の補助事業について

【環境保全農業課】

現在、以下の事業の申請を随時受け付けています。

#### 1 環境にやさしい農業拡大推進事業

##### (1) 有機 JAS 認証等拡大支援事業

- 有機JAS認証に係る経費等を支援します。
- 事業主体: 県内農業者等(小分け認証は県内事業者)
- 補助率: 新規認証3/4以内、継続認証1/2以内、  
小分け認証(新規)定額(上限30万円)+施設整備1/2以内(上限200万円)

#### 2 みんなでチャレンジ!環境保全型農業拡大事業

##### (1) 環境保全型農業チャレンジ!事業

- 有機栽培、特別栽培の拡大、新規取組に必要な経費を支援します。
- 事業主体: JA部会、生産者組織等
- 補助率: 有機栽培は1団体あたり、[参加人数]×[単価10万円/人]、  
特別栽培は1団体あたり、[取組面積(拡大分)]×[単価5千円/10a]  
※補助上限は100万円/団体

##### (2) 環境保全型農業サポート体制整備事業

- 耕畜連携、Jクレジット等の地域ぐるみの環境保全型農業のモデルとなる活動のソフト及びハード事業を支援します。
- 事業主体: 市町村、農業団体等
- 補助率: 定額(機械導入・リースは1/2以内)(上限300万円)



↑環境にやさしい農業拡大  
推進事業



↑みんなでチャレンジ!  
環境保全型農業拡大事業

#### 【問い合わせ先】

県北農林事務所:024-521-2604    県中農林事務所:024-935-1307  
県南農林事務所:0248-23-1555    会津農林事務所:0242-29-5302  
南会津農林事務所:0241-62-5253    相双農林事務所:0244-26-1147  
いわき農林事務所:0246-24-6160  
農業総合センター有機農業推進室:024-958-1711  
農林水産部環境保全農業課:024-521-7453

# 有機農業推進担当職員を紹介します

【農業総合センター有機農業推進室】

令和7年度の本県有機農業の推進体制をお知らせします。

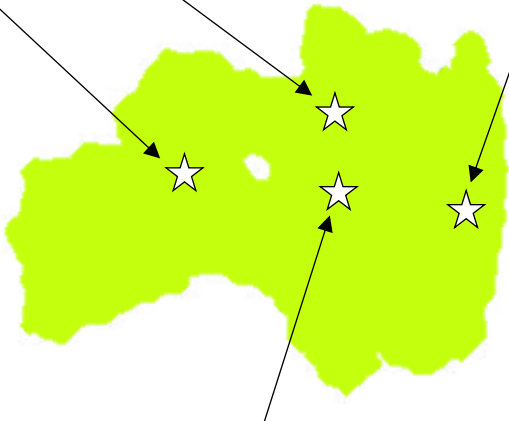
今年度も一層力を入れて、本県の有機農業の取組を推進して参りますので、よろしくお願いします。

環境保全農業課 (有機農業担当)	新 主任主査 桑名	主事 平野	技師 前田
	副主査 大竹	主事 草野	

会津農林事務所農業振興普及部



新 主査キャップ 新野  
会津普及



相双農林事務所双葉農業普及所



主任主査 木村  
浜通り普及

農業総合センター有機農業推進室



技師 八代 中通り普及(作物)	主任主査 木幡 中通り普及(園芸)	室長 田口	新 主任研究員 横田 試験研究	専門員 根本 試験研究
--------------------	----------------------	-------	--------------------	----------------

## 第18回農業総合センターまつりが開催されます！

【農業総合センター】

- 本部会場 9月5日(金) 9:30~15:00      ○果樹研究所 9月12日(金) 10:00~15:00  
9月6日(土) 9:30~15:00

皆さんお待ちかね!!

今年も、農業総合センターまつりと果樹研究所参観デーを開催いたします。

農業総合センターまつりでは、試験研究成果に関するセミナーをはじめ、農産物販売、センターツアー、農業技術相談、虫の観察等の農業総合センターならではの企画が満載です。また、有機農業推進室ではセンター内の有機栽培ほ場にて、野菜の収穫体験や有機農業ミニ講座を実施しますので、ぜひお越しください(事前申込制)。

果樹研究所参観デーでは、技術セミナー、生産物販売、ほ場案内等を企画しています。

詳しい内容は、農業総合センターホームページに掲載しますので、ご覧ください。